

弱冠18才の大器出現!!

CMSC帯広

第9回CMSC帯広コルトダートトライアル'93

8月8日

今回のコルトダートトライアルは、まさに鎌田卓麻ミラージュ4WDの為の競技会となりました。弱冠18才、ダートラ3戦目、しかもAIII車両で総合優勝

をも奪ってしまったのです。今回、審査委員長には全日本ラリーBクラスで活躍中の鎌田豊氏に務めていただき、試走でその走りを披露していただいたのですが、そのタイムをも大きくぶっちぎったのが鎌田卓麻選手だったのです。

実はこの選手、18才の新人とは言っても物心ついた時から山の中を走り廻っており、ダート経験は十二分。先日の北海道J1ラリーでもSSはぶっちぎ

りだったのです。年齢制限の為、北海道チャンピオン戦ラリーには参加出来ませんが、今話題の少年なのです。まったく末恐ろしいガキ、いやお子さんののです。そう、鎌田豊氏の一人息子なのでした。このまま成長すればWRCも夢じゃない!

ちなみに総合2位は馬淵ランサー、3位は青木マイベックミラージュと、総合でも三菱車の上位独占と成りました。(CMSC帯広 青沼 達也)

全国転戦は、すでに生活の一部

CMSC大阪 藤原 雄一郎

全日本ダートラ転戦レポート

「ランサーエボリューション」で全日本選手権A-4クラスを転戦しています。現在の全日本選手権は8クラスに分かれています。A-4クラス(ナンバー付きの2000cc以上)は最も参加台数も多く、注目度の高いクラスです。その理由は、1つにはこのクラスのクルマは基本性能が高いので、乗っていても見てもスピード感があって面白いことです。もう1つは参加している選手のレベルが高く層も厚いので競技性に富んでいることです。実際にこのクラスの選手は過去に他のクラスでチャンピオン争いをした選手が多数集まってきており、このクラスから出て行く選手が少ないために戦いは激しさを増す一途になっています。

私自身も昨年度よりこのクラスに移行したひとりなのですが、予想どうりレベルの高さについていけず、成績は競馬に例えていえば「中位凡走」ということになります。本人はそれなりにガンバッテいるつもりなのですが、ゴールして場内放送でタイムを聴くと、急に落ち込んでしまいスゴスゴとパドック

に引き上げていくのが習慣になってしまいました。クルマが悪いわけでもなく(優勝車はランサーだ)単にドライバーのウデに原因があるのは明白なのですが、このクラスに移る前は上位入賞することが多かったのですが、出番のない表彰式をすごすのが寂しい昨今です。幸いにも今年度は予選落ちしていないのが(昨年は多かった)せめてもの救いなのですが、予選で精力を使い果たしてしまい、決勝で集中できない状況になっているような気がしています。

全日本選手権が全国転戦になってから今年で5年目になりますが、最近はやや人気が下降しているような気がしています。初年度の頃は転戦しているメンバーが近畿地区だけで20名近くいたのに、今年はその半分以下になっているのが残念です。私自身の実感としては、全日本選手権の魅力がなくなったわけではなく、競技自体は十分にコンペティティブでありエキサイティングだと思っています。そして何よりもこの5年間を転戦してきたという共感が転戦しているメンバー同士の連帯感につながっており、日本全国に解り合える友人ができたような気がしています。もう全日本戦を転戦することが生活の一部になってしまっていて、日本全国を気の合った友人達と共通の目的を持って旅行しているような気持ち



で、すごく自然で充実感のある出来事になっています。「いつの日か、この世界から足を洗う日が来たらどうしよう」というのが今の最大の心配事になっているボクは幸せな人なのでしょうか?

ドライバーの技量で勝負を!

CMSC帯広 山口 善則

'93全日本ダートトライアル第6戦

1993 DIRT TRIAL in HOKKAIDOに初めて参加しました。三笠市奔別川端町内の石炭工業敷地で行なわれました。全日本ラリーのSSステージにも使われたことのある会場です。予選土曜日は朝から雨で路面はスリッピーになりました。スタートから第2コーナーまではアスファルトで、このグラベルの第1コーナーでアクシデントが多数あり、リタイヤをしたエントラントが出ました。ここには石碑があって、吸い寄せられるように、コースアウトが多く出たのかもしれませんが。この会場は、夜1人きりにだけは「絶対」なりたくない所でした。前にここで写真を取ったところ、多くの「顔」のような物が写っていたそうです。

決勝日には雨も上がり、2本目にはほこりも出る

ようになり、ベストタイムのオンパレードになりました。中間でのタイムアナウンスもあり参考になりました。ただ残念だったのは、ストレートの速さがマシンによって大きな差があったことで、フル加速している時のエンジン音が、同じ車種でもはっきりちがう物が少なくとも2種類あるのがわかりました。耳にはしていましたが、あれもノーマル!?これもノーマル!?タイムで見てもA-4のベストスリーが改造車のC-3のクラスに入れても2位、3位、4位になってしまうということになります。ギャラリーには、大会全体としてはおもしろかったとは思いますが、残念です。

ノーマルエンジンでは、ランサーがインプレッサより遅いとは思えないのですが、ここまでしないと全日本戦は戦えないのでしょうか?私はイコールコ



ンディションでドライバーの技量による戦いをしたいだけなのです。それによつての勝利者は尊敬できるのです。

来年も行きたいNZラリー

CMSC千葉 勅使川原 光 '93ニュージーランドラリー参戦記

「楽しんでいるかい？」
S Sのゴールでよくオフィシャルに聞かれる。
「Yes.Of course」
と答える。日本でのラリーと雰囲気が違う。オフィシャルもギャラリーもエントラントもサービス隊もラリーを楽しんでいる。S Sトータル約500km。総距離2000km。スケールが違うだけではなかった。
「本当に完走して良かった」
最終S Sが終わり、サービス隊の顔を見た時に何度

も何度もそう思った。自費でサービスに来てくれた人達。仕事を休んで家族ぐるみで手伝ってくれた現地ヘルパーの人達。ドライバーとナビゲーターだけのラリーではなく、チーム全員で成し遂げた達成感というものがあった。「総合18位、Nクラス7位」ワークスが大学エントリーした今回。初出場としての成績はまずまずのものだと思う。

「来年も行きたい！」
来年は資金面での問題をクリアし、グループNで優勝争いのできる体制で臨みたい。最後になりましたが、サービス隊をはじめスポンサーの方々、色々な方にお世話になりました。本当に有難うございました。来年もよろしくお願ひ致します。



興奮の全日本ラリーオフィシャル初体験

CMSC帯広 ツール・ド・ミカサ

帯広の凸凹夫婦がツールドミカサのオフィシャルのお手伝いをして参りました。何しろ二人とも全日本戦は見るのも初めてでしたので初日から大騒ぎ！いつもは雑誌でしかお目にかかれぬ人や車がウジ

ャウジャいるのですからドキドキものでした。さらに仕事でS S管理でしたので、林道の真只中でスーパーテクニックを見ることができ、ますます感激しました。そしてなんと夕間のS Sではインプレッサのバックファイヤーを見ることができ「WRCのようなだなあ」と思っていました。(ちなみにランサーは火を出していませんでした。エライ。)何はともあれ、睡眠時間4時間で頑張った2日間は大変でし

たが、とてもいい経験ができました。最後にいつもオフィシャルに優しい声をかけてくれた大庭選手、どうもありがとうございました。これからは優しいラリーस्टでいて下さい。(CMSC帯広 生井 重男・史枝)



CMSCに入会して CMSC岐阜

CMSCに入会して、全国で開催される全日本ダートトライアルに出場する中で、全国的組織であるCMSCのクラブ員の人たちとの情報交換などが、全国の大会会場でできました。今まで以上に有利な

戦いができ、これだけ大きなクラブだからこそそのメリットだと思います。今はとても楽しく全国を周ることができるようになりました。
また車両についても、昨年の車両とは大きく違って、ランサーエボリューションは大変乗りやすくコントロールしやすく、どんなコースでもアクセルを踏み込んでいけます。完成度が高く、タイムの出しやすい車両だと思います。セッティングも大分決

まってきたので、後半戦は更にCMSCのクラブ員であるメリットと、戦闘力のあるランサーEVで、よい成績につなげていきたいと思っています。(CMSC岐阜 北村 和浩)



山形V7危うし。群馬がトップに!

'93チャレンジカップ

V7を目指して好発進した山形。順調にポイントを増やしていましたが、群馬がそれを上回る勢いでポイントを獲得。遂に、山形を捕えました。個人部門でも動きが見られてますます目が離せません。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	合計
群馬	477	669		1146
山形	598	511		1109
青森	462	471		933
帯広	269	429		698
岐阜	385	264		649
札幌	282	315		597
広島	172	408		580
岩手	227	266		493
香川	312	102		414
福島	173	157		330
島根	163	103		266
千葉	125	94		219
仙台	29	75		104
愛知	97	5		102
大阪	17	62		79
栃木	70	9		79
埼玉	14	10		24

●ラリー・ドライバー部門

奴田原文雄	札幌	210
小林康弘	帯広	138
岩根つもる	広島	114
勅使川原光	千葉	94
渡辺俊昭	山形	66
丹羽浩道	千葉	62
三谷義和	千葉	60
対馬雅人	青森	60
鷲見宏康	岐阜	40
平原和幸	広島	38

●ラリー・ナビゲーター部門

伊吹浩明	帯広	122
岡田祥昌	広島	114
朝岡達也	愛知	70
対馬隆正	青森	60
今野泰正	山形	42
横田浩一	広島	38
永沢裕之	青森	34
青木 功	栃木	28
金子 弘	群馬	20
間宮宏幸	岐阜	19

●ダートトライアル部門

宝田芳浩	札幌	352
荒井信介	群馬	319
大井こずゑ	群馬	319
赤羽政幸	山形	300
榎田正文	岐阜	274
菅野 茂	山形	229
高竹優之	香川	220
岩田恒廣	群馬	194
大井義浩	群馬	180
館山正嗣	青森	178

●ジムカーナ部門

小館 久	青森	282
須田行雄	福島	198
上泉晃祥	福島	104
鈴木日出明	山形	50
青沼達也	帯広	38
伊藤良伸	島根	25
坂本 均	青森	22
斎藤剛栄	青森	21
荒井信介	群馬	20
葛西 満	青森	16

●レース部門

小川日出生	山形	36
今野広志	仙台	30
瀬在仁志	埼玉	24
荒井信介	群馬	12
小出辰彦	愛知	10

●ポイントのつけ方

リタイアには予選不通過も含む

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = 全日本選手権、地方選手権
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む
B = それ以外の競技会